

福岡市市政記者各位

令和7年5月30日
環境局脱炭素社会推進課

「地域脱炭素フォーラム2025 in 福岡」の開催について

地域脱炭素に精力的に取り組む自治体や事業者、金融機関、学識者等による議論を通じて、「産官学金労言」など多様な主体を巻き込んだ地域脱炭素のムーブメントにつなげることを目指し、以下の日時で、環境省主催「地域脱炭素フォーラム 2025 in 福岡」が開催されます。

本市をはじめ、九州内の脱炭素先行地域の取組み等が発表されますので、お知らせいたします。

1. 日 時 令和7年6月15日（日） 14時00分～16時30分
2. 開催方式 対面およびオンライン配信
3. 場 所 T K P エルガーラホール 8階大ホール(福岡市中央区天神1丁目4-2)
4. 内 容 講演およびパネルディスカッションを予定

(主な登壇者)

挨拶 五十嵐 清 環境大臣政務官
倉富 純男 九州経済連合会 会長

パネルディスカッション

中村 英一 福岡市副市長
北九州市副市長、延岡市長、日置市長

※その他、詳細は別添チラシを参照ください。

取材を希望される報道関係者の方は、6月11日（水）18時までにフォーラム事務局へお申込みください。（詳細は別添環境省の報道発表資料を参照ください）





環境省報道発表

令和7年5月8日（木）

「地域脱炭素フォーラム 2025 in 札幌」 「地域脱炭素フォーラム 2025 in 福岡」 の開催について

1. 環境省では、脱炭素先行地域の実施等を通じて加速する地域脱炭素のうねりを更に大きくし、地方創生に資する形で全国に波及させるため、「地域脱炭素フォーラム 2025～地域脱炭素 2.0 に向けた官民連携の更なる強化～」を各地域ブロックで開催することとしています。
2. 今般、第3回目となるフォーラムを令和7年6月11日（水）に北海道札幌市、第4回目を令和7年6月15日（日）に福岡県福岡市で開催します。
3. 本フォーラムでは、地域脱炭素に精力的に取り組む自治体や事業者、金融機関、学識者等による議論を通じて、「産官学金労言」など多様な主体を巻き込んだ地域脱炭素のムーブメントにつなげることを目指します。

【添付資料】

- ・ 「地域脱炭素フォーラム 2025 in 札幌」チラシ
- ・ 「地域脱炭素フォーラム 2025 in 福岡」チラシ

※ 添付資料は以下の URL より御参照ください。

https://www.env.go.jp/press/press_04880.html

<詳細は次ページ以降>

内容についての問合せ先
環境省大臣官房地域政策課
代 表：03-3581-3351
直 通：03-5521-8232
課 長：近藤 貴幸
補 佐：森久保 舞子
担 当：坪倉 陽平

■ 「地域脱炭素フォーラム 2025 in 札幌」の開催について

1. 開催概要

- (1) 開催日時
令和7年6月11日（水）14:00～16:00
- (2) 開催形式
対面及びオンライン配信
- (3) 開催場所
札幌プリンスホテル 国際館パミール 3階・大沼
(北海道札幌市中央区南3条西12丁目325-4)
- (4) 主催
環境省
- (5) 協力
GX・金融コンソーシアム「Team Sapporo-Hokkaido」、株式会社北海道新聞社
- (6) プログラム
講演及びパネルディスカッションを予定（詳細は別添チラシを参照ください）

<登壇予定者> * 敬称略、順不同

- ・ 江夏 あかね（株式会社野村資本市場研究所 野村サステナビリティ研究センター長）
- ・ 兼間 祐二（株式会社北海道銀行代表取締役頭取／株式会社ほくほくフィナンシャルグループ代表取締役副社長）
- ・ 鈴木 徹（株式会社北海道新聞社 特別編集委員 兼 解説委員）
- ・ 田中 仁（北海道経済部 ゼロカーボン推進監）
- ・ 西山 香織（北海道札幌市まちづくり政策局グリーントランスフォーメーション推進担当局長）
- ・ 金澤 俊（苫小牧市長）
- ・ 今城 忠宣（北海道ガス株式会社執行役員 環境・地域共創推進部長）
- ・ 前田 章博（さくらインターネット株式会社取締役／ビットスター株式会社代表取締役社長）
- ・ 久保 俊幸（一般社団法人北海道商工会議所連合会副会頭・政策委員長／函館商工会議所会頭）
 - ・ 北海道
 - ・ 札幌市
 - ・ 環境省

- (7) 定員
会場参加：500名程度
- (8) 参加費
無料

2. 参加申込方法

以下の応募フォームに、令和7年6月6日（金）18:00までにお申し込みください。

<https://app.itto.co/chiikidatsutanso-sapporo/entry>

※ 応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。予めご了承ください。

3. その他

関係する資料は開催当日までに下記 URL に掲載します。

<https://www.env.go.jp/policy/region/decarbon-forum3.html>

■ 「地域脱炭素フォーラム 2025 in 福岡」の開催について

1. 開催概要

- (1) 開催日時
令和7年6月15日(日) 14:00~16:30
- (2) 開催形式
対面及びオンライン配信
- (3) 開催場所
TKP エルガーラホール 8階大ホール
(福岡県福岡市中央区天神1丁目4-2)
- (4) 主催
環境省
- (5) 共催
一般社団法人九州経済連合会
- (6) 協力
福岡市、北九州市、延岡市、日置市
- (7) プログラム
講演及びパネルディスカッションを予定(詳細は別添チラシを参照ください)

<登壇予定者>* 敬称略、順不同

- ・ 五十嵐 清 (環境大臣政務官)
- ・ 倉富 純男 (一般社団法人九州経済連合会 会長)
- ・ 池田 昌人 (ソフトバンク株式会社 CSR 本部 本部長 兼 ESG 推進室 室長)
- ・ 萩島 理 (九州大学大学院総合理工学研究院 教授)
- ・ 中村 英一 (福岡県福岡市 副市長)
- ・ 片山 憲一 (福岡県北九州市 副市長)
- ・ 読谷山 洋司 (宮崎県延岡市長)
- ・ 永山 由高 (鹿児島県日置市長)
- ・ 佐々木 理恵 (ニュースキャスター)
- ・ 大野 隆 (株式会社肥後銀行 地域振興部長)
- ・ 佐々木 周 (西鉄自然電力合同会社 共同代表)
- ・ 武内 祥平 (味の素株式会社 バイオ&ファインケミカル事業本部 CFS 事業部 戦略推進グループ長)
- ・ 中嶋 崇史 (株式会社球磨村森電力 代表取締役)

- (8) 定員
会場参加: 300名程度
- (9) 参加費
無料

2. 参加申込方法

以下の応募フォームに、令和7年6月11日(水)18:00までにお申し込みください。

<https://app.itto.co/chiikidatsutanso-fukuoka/entry>

※ 応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。予めご了承ください。

3. その他

関係する資料は開催当日までに下記 URL に掲載します。

<https://www.env.go.jp/policy/region/decarbon-forum4.html>

【報道関係者の方々へ】

取材を希望される報道関係者の方は、各会場の期日までに以下の問い合わせ先に必要事項を記入の上、電子メールにてご連絡ください。

【札幌会場】令和7年6月6日（金）18:00 まで

【福岡会場】令和7年6月11日（水）18:00 まで

＜必要事項＞

- ・ 会社名
- ・ 氏 名（複数名での取材となる場合は同行者の氏名もお知らせください）
- ・ 撮影の有無（有の場合のムービー、スチールの別）

＜取材方法＞

お申し込みいただいた方に対し、事務局より、取材の可否等についてご連絡します。取材可の連絡がない場合には、ご来場をお控えいただきますようお願いいたします。現地にて取材される方は、当日事務局が指定する時間までの間に、各会場までお越しください。会場で受付を済ませ、事務局の指示に従ってください。オンラインでの取材を御希望の方には、視聴 URL 等をお知らせします。取材される方は、記者証又は自社名入りの腕章の着用をお願いします。

- ・ 問い合わせ先
地域脱炭素フォーラム 2025 事務局
担当：前原、小林、石田
E-mail：chiikidatsutanso-forum@itto.co

【参考】地域脱炭素フォーラム 2025 の開催について

2025 年度内に、以下の通り全国各ブロック・9箇所での開催を実施・予定しています。

地域脱炭素フォーラム 2025 の開催地等一覧

地域ブロック	開催地	開催日
北海道	北海道札幌市	令和7年6月11日（水）
東 北	宮城県仙台市	未定
関東①	神奈川県横浜市	令和7年5月17日（土）
関東②	新潟県新潟市	未定
中 部	愛知県名古屋市	未定
近 畿	兵庫県神戸市	令和7年5月25日（日）
中 国	広島県広島市	未定
四 国	香川県高松市	未定
九州・沖縄	福岡県福岡市	令和7年6月15日（日）

関連 URL：<https://www.env.go.jp/policy/region/decarbon-forum.html>

(参考) 地球温暖化対策計画 (令和7年2月閣議決定) (抜粋)

第3章 目標達成のための対策・施策

第7節 地方創生に資する地域脱炭素の加速 (地域脱炭素ロードマップ)

3. 地域脱炭素の加速化・全国実施を後押しする基盤的施策

(2) 地域における脱炭素型ライフスタイルへの転換の取組

(地域脱炭素の取組と連携した環境教育等の推進)

地域脱炭素の推進に当たり、幅広い主体の行動変容を促すためには、環境教育、消費者教育、学校教育等との連携も重要である。そのため、国は、地方公共団体の関係部局 (環境部局や消費者行政部局等) の連携による消費者向け施策を推進する。また、環境を考慮した学校施設 (エコスクール) の推進により、学校施設を環境教育の教材として活用する。

また、地域の住民や事業者等の理解及び行動変容を促すため、多様な主体が参加するフォーラム等を各地方環境事務所単位の地域ブロックで開催する。くわえて、2025年日本国際博覧会等の機会を捉えて、地域脱炭素の取組がもたらす地域や住民へのメリットを国内外に発信する。

以上

地域脱炭素フォーラム2025 in 福岡

～地域脱炭素2.0に向けた官民連携の更なる強化～



写真提供:福岡市

Program

14:00 開会挨拶
五十嵐 清

環境大臣政務官

2003年から栃木県議会議員を5期18年活動、議長等を歴任。2021年に衆議院議員選挙で初当選、2024年11月から環境大臣政務官。



14:05 挨拶
倉富 純男 氏

一般社団法人九州経済連合会 会長

1978年に西日本鉄道株式会社に入社。2013年に代表取締役社長、2021年から代表取締役会長を務める。同年6月から現職も兼務。



14:10 講演

「ソフトバンクグループの脱炭素対応～地域との共創に向けて～」

池田 昌人 氏 ソフトバンク株式会社 CSR本部 本部長 兼 ESG推進室 室長

14:25 パネルディスカッション①

「地域特性を踏まえたゼロカーボンシティへの挑戦」

ファシリテーター 萩島 理 氏 九州大学 大学院総合理工学研究院 教授

パネリスト 中村 英一 氏 福岡県福岡市副市長 片山 憲一 氏 福岡県北九州市副市長

読谷山 洋司 氏 宮崎県延岡市長 永山 由高 氏 鹿児島県日置市長

15:25 パネルディスカッション②

「地域資源を生かした官民連携による脱炭素と地域課題の同時解決」

ファシリテーター 佐々木 理恵 氏 ニュースキャスター

パネリスト 大野 隆 氏 株式会社肥後銀行 地域振興部長 佐々木 周 氏 西鉄自然電力合同会社 共同代表

武内 祥平 氏 味の素株式会社 パイオ&ファインケミカル事業本部 CFS事業部 戦略推進グループ長 中嶋 崇史 氏 株式会社球磨村森電力 代表取締役

16:25 閉会

2025 SUN

6.15

14:00-16:30

TKPエルガーラホール
8階大ホール

福岡県福岡市中央区天神1丁目4-2



参加費

無料

定員:会場参加300名

来場・WEB共に事前申込制

申込締切

2025
6.11 WED

お申し込みはこちら



脱炭素地域づくり

支援サイト



お問合せ

地域脱炭素フォーラム事務局 (株式会社ツクルス内)
MAIL: chiikidatsutan-so-forum@tto.co

主催



共催

(一社)九州経済連合会

協力

福岡市、北九州市、延岡市、日置市

地域脱炭素フォーラム2025 in 福岡

～地域脱炭素2.0に向けた官民連携の更なる強化～



PROFILE

登壇者プロフィール 一覧



萩島 理氏

九州大学 大学院総合理工学研究院 教授
1971年福岡県生まれ。九州大学大学院総合理工学研究所修士、博士(工学)。同大学助手、助教、准教授を経て、2016年より現職。2020年より同大学副理事、2024年より副学長。専門は建築環境工学、都市気候学。近年は建物の省エネルギーや脱炭素、アジア諸国のサステナブルな住環境などを主なテーマとしている。



池田 昌人氏

ソフトバンク株式会社
CSR本部 本部長 兼 ESG推進室 室長
1997年東京デジタルホン(現・ソフトバンク)入社。営業部門、マーケティング戦略部門を経て、東日本大震災復興支援財団(現・子ども未来支援財団)の立ち上げに参画し、運営に携わると同時にCSR部門の責任者に就任。2020年よりSDGs推進室(現・ESG推進室)の責任者として、2022年から3年連続でDJSI World組入、2023年から日経SDGs大賞を2年連続で受賞するなど、サステナビリティのグローバルトップ企業への成長に貢献。



中村 英一氏

福岡県福岡市副市長
1958年生まれ。1984年福岡市役所入庁。2010年財政局アセットマネジメント推進部長、12年総務企画局企画調整部部長、13年総務企画局長、同局理事などを経て、19年福岡市副市長に就任。現在は、副市長として環境局や経済観光文化局等を所管し、ペロブスカイト太陽電池や水素エネルギーの普及をはじめとした脱炭素施策など、社会課題の解決に向け取り組んでいる。



片山 憲一氏

福岡県北九州市副市長
1952年生まれ。東北大学工学部卒業。1975年4月北九州市入職。企画局地域開発推進部運輸企画課長、企画・学術振興局新空港推進室長、企画政策室長、港湾空港局長、産業経済局長、市民文化スポーツ局長などを歴任後、2013年3月に退職。退職後は、北九州エアターミナル株式会社代表取締役社長、学校法人西日本工業学園理事、西日本工業大学学長を経て、2023年4月より現職。



読谷山 洋司氏

宮崎県延岡市長
1964年宮崎県延岡市生まれ。1986年に東京大学経済学部を卒業後、旧自治省(現:総務省)に入省。総務省大臣官房企画官、内閣官房内閣参事官、国際連合経済社会局(UN/DESA)コンサルタントなどを歴任。2012年に総務省を退職し、延岡市に帰郷。延岡市内で子育て支援会社を創業するとともに、2015年には長崎県立大学経済学部教授にも就任(兼務)。2018年2月から延岡市長を務める。



永山 由高氏

鹿児島県日置市長
1983年生まれ。九州大学法学部を経て日本政策投資銀行へ。リーマンショックが契機となり退職後、2009年にUターン。地域シンクタンクを創業して10年間経営し、移住ドラフト会議などの各種企画を立案。趣味のエアギターでは2018年に日本ランク2位に入る。2021年5月より現職。DX、GX、子育て支援、公民連携などを進めているほか、年に1回の引っ越しを行い、合併した旧町に1年ずつ暮らしながら市政にあたっている。



佐々木 理恵氏

ニュースキャスター
福岡市出身。九州大学芸術工学部卒業、同大学院修了。経営学修士、気象予報士と防災士。現在NHKニュース「おはよう九州沖縄」のキャスター11日目。ニュースと気象情報を二刀流で毎朝伝える。MBA×デザイン×気象予報士の視点で、経済・気候変動についての取材・報道を積極的に行っている。再生可能エネルギーや、カーボンクレジットのレポートを放送するなど、持続可能な資本主義の模索、地域のポテンシャルから社会を変えることを追求している。



大野 隆氏

株式会社肥後銀行 地域振興部長
熊本県生まれ。九州大学経済学部卒業後、1997年に肥後銀行に入行。2018年にサステナビリティ推進室長に就任。以後、銀行自体のSDGsの取組みだけでなく、300社を超える地元企業のSDGsの取組み支援に携わる。現在は、地域振興部長として、地域の脱炭素化や地下水保全、観光振興、DX推進などの課題に対して産学官連携による課題解決支援業務に従事している。



佐々木 周氏

西鉄自然電力合同会社 共同代表
2012年に自然電力株式会社に参画、自然エネルギー100%の世界の実現と地域の価値向上を目指し、地域主体・経済循環する再生可能エネルギーの開発を推進している。同社にて事業開発部・発電事業部部長、juwi自然電力オペレーション代表取締役を歴任。2022年 西鉄自然電力合同会社設立時より現職。自然電力株式会社 九州地域統括、くまもと地域みらいエネルギー株式会社 代表取締役を兼任。



武内 祥平氏

味の素株式会社 バイオ&ファインケミカル事業本部
CFS事業部 戦略推進グループ長
2001年 味の素株式会社入社。国内、海外の工場、研究所での新技術開発・導入、また事業部門での戦略立案、事業採算管理、新製品・新事業開発などの業務を経験。現在はCFS事業部(動物栄養事業部門)の戦略立案・推進、新事業開発の責任者として従事。



中嶋 崇史氏

株式会社球磨村森電力 代表取締役
2013年早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科にて博士(工学)の学位を取得。2014年に㈱リクロスエクスパンションを設立。早稲田大学環境総合研究センター客員次席研究員の経験を活かし、エネルギー・リサイクル分野のビジネスプロデュースを得意とする。2018年に球磨村との連携協定に基づき球磨村森電力を設立し、事業の担い手へと範囲を広げ、他地域への横展開を進める。2024年に環境省脱炭素まちづくりアドバイザーに就任。